



いじめゼロなかよし集会

9月16日(火),児童会代表委員会主催の「いじめゼロなかよし集会」を開催しました。今回の集会は,子供たちのこだわりや工夫が表現されています。まず,集会のネーミングです。これまでは「いじめ根絶集会」としていましたが,代表委員の中から「根絶って分かるかな?」との疑問をきっかけに,議論を重ねて「いじめゼロなかよし集会」となりました。「なかよし」という表現から,やなぜ魂を根底にした,学校の目指す「いじめのない環境づくり」の考え方が子供たちにも伝わっているのかな……と感じました。

それから,内容面の工夫では,代表委員がシナリオを考えたオリジナルのいじめ動画を3本視聴して,それぞれについて「どうすればよかったのか」を話し合う活動を取り入れました。これは,一人一人が自分のこととして捉えてもらいたいという意図です。そして,給食の時間には「ぼくは ぼく /スーザン・ヴェルデ」の朗読を放送しました。これは,いじめの起きない環境の始まりは「お互いを認め合う」ということを伝えたかったそうです。代表委員ナイスチョイス!

集会自体には大きな変化はないようにも見えますが,代表委員の「いじめゼロ」の思いが伝わります。「目的からぶれることなく,丁寧にこだわる」やなぜらしく,やなぜの子供らしく。(集会は,屋内運動場で暗幕を張っての実施のため,写真の画質が見づらいかもしれません。御容赦ください。)

集会後の1年生の振り返りから一部を紹介します。拙い文章ではありますが,よく考えていることが伝わります。

○「どうしたらよかった?」がべんきょうになったり,すごくこのしょうがっこうをなかよしにさせたいです。

○いじわるなことをすると,あいてがかなしいきもちだから,どうやってみんながたのしくできるかわかった。

○けんかをしないで,わたしはみんなとなかよくしたいです。わたしは,1かいともだちとけんかをしたことがあるけど,わたしはあやまりました。

○なんか,いじめがないといいなおもいました。

○どうがで,かわいそうなことがたくさんいたから,たすけてあげようかなとおもいました。これからともだちをたすけます。

○ほんが,いいはなしてした。

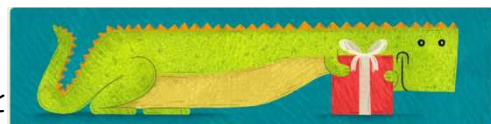
○じぶんとあいてがいっしょのかんがえて,げんきにあそぶ。



やさしさ貯金箱

9月30日(火),いじめゼロ強調月間が終了しました。月間プロジェクトとして実施してきた「やさしさ貯金箱」は,デジタル版が387,ありがとうカード記入版が45となり,合わせて「432」となりました。参考までに,昨年度の9月の合計数は「365」です。今回もデジタル版が多く活用されましたが,1年生にはダフレットが貸与されていませんので,頑張ってありがとうカードを投稿してくれました。1年生のありがとうの思いも確実に貯金させていただきました。さて,デジタル版では,平日の夜や土日にも投稿の記録があり,子供たちが一日や一週間を振り返りながら自宅から投稿してくれたことが分かります。感謝の心を常に忘れない,やなぜの子のやさしさが伝わります。

さて,貯金内容の詳細ですが,今回は地域の方への投稿がありました。学校の外でも感謝への感度が高いことは,



やさしさ貯金箱 (令和7年9月30日まで)

とてもすてきなことです。子供の教育に携わる我々大人も感度を高め、率先して、「ありがとう」の言葉があふれる環境を作っていききたいものです。

○いつも下校や登校の見守りをしてくださったり、挨拶をしてくださったりありがとうございます。

○歩道橋が工事している間は、通学路に警備員さんがいて、暑い日でも通っている人を確認したり挨拶を返してくれたりして、ありがとうございます。

○いつも私達のために横断歩道に立って安全を確認してくれてありがとうございます。

○掃除終わりの手洗いのときに一年生の子が石鹸を取れなかったことに気づいてすぐにとってあげてくれてありがとう。めっちゃ感動しました。

○毎日褒めてくれたり優しくしてくれたりしてありがとうございます！

引き続き「築瀬の輪 やさしい心 届けよう」のスローガンのもと、いじめのない環境作りに努めてまいります。保護者及び地域の皆様も、家庭や地域で「ありがとう」があふれる環境作りにお力添えくださるようお願いいたします。

そして、いじめの「疑い」という段階で、状況をいったん大きく捉えることとし、組織体制で詳細を確認し固めていくという考え方を軸に、適切に対応してまいります。

学校電話の自動音声応答の時間が変わります～宇都宮市教育委員会より～

今年度、栃木県教育委員会が作成した、学校の働き方改革についての保護者・地域向けリーフレット(右図)を受け、宇都宮市教育委員会では、電話自動音声応答の時間帯を見直すこととなりました。9月29日にさくら連絡網でお知らせしたとおり、2学期から本校職員の勤務時間(8:10～16:40)外は自動音声応答とさせていただきます。国が表現している「教職員の働き方改革の加速化」を踏まえた対応となります。

①本趣旨に鑑み、緊急時以外は、勤務時間外の来校も御遠慮願います。

②児童生徒の生命・安全に関わる緊急事案発生の際は、警察や消防に通報後、教育委員会緊急電話(632-5115)まで御連絡ください。

③「校外行事等で欠席連絡を早朝に指定している場合」や「学校からの電話に対する折り返しをお願いしている場合」等は、自動音声応答の時間を変更することがあります。

【上記③の波線部分について、家庭や地域との風通しが悪くならないよう、築瀬小学校は以下のとおり運用していきたいと考えています。】

◆児童下校後に、保護者の方に電話をし留守番電話につながり、学校への折り返しをお願いする場合は、職員から「〇時〇分頃まで自動音声対応にせず待つ」旨、留守番メッセージに残させていただきます。もし、折り返しが間に合わなかった場合は、翌日に対応させていただきます。

◆留守番電話につながらず学校からのメッセージを残せなかった場合は、翌日に対応させていただきます。

10月16日(木)より本格実施となりますので、保護者及び地域の皆様には、どうぞ御理解の上、引き続き御協力くださいますようお願いいたします。

第2回築瀬小学校地域協議会開催

9月18日(木)、第2回築瀬小学校地域協議会を開催しました。保護者及び地域の皆様に概要を報告いたします。主な内容は、「各部の活動進捗」「体力テスト速報値」「学校の働き方改革の推進」などでした。さらに、協議内容は「今後の予算執行」について、学校支援ボランティア活動と関連させながら御意見をいただきました。また、その他の話題提供として「学校応援基金の設立」について、柳田会長から説明がありました。委員の皆様、今回もお忙しいところ御参集くださりありがとうございました。

